

2020年10月17日

発展と教育のためのキリスト教機関 (CODE)

ニュースレター 2020年10月号

親愛なる皆さま

わたしたちの救い主、イエス・キリストの御名によりご挨拶申し上げます。御家族の皆さん共々、お元気で新型コロナウイルスから守られているでしょうか？

こちらインド政府の統計によると、プリの町での新型コロナウイルス感染者数は減少しつつあるということですが、スラムでは感染者数はさらに増加しつつあります。このことの主因の1つは、スラム居住者が極度の貧困である上に、今や、収入が途絶え、手洗いのための石鹸や、感染予防のために分けて使うハンドタオルを購入することが出来ないことです。この状況を松本素代美さんを通して皆さんにお伝えしたところ、里親の皆さん、日本のバプテスト教会とその女性会、そして個人の方々が積極的に応答していただき、ここ1ヶ月の間にこちらの貧しい方々に無料配布する石鹸とタオルを沢山送っていただきました。送っていただいた石鹸とタオルは、スラムの方々への食糧配布の際、また学校の生徒たちと彼らの家族にも配布することが出来ました。

インドの税関は、皆さんが送られた石鹸とタオルの全部ではありませんが、あるものには関税を課したりして、私たちが困惑させていますが、それでも、これらの貧しく助けを必要としている人々が、このように手洗いのための石鹸とタオルを受け取れていることを、わたしたちは喜んでいきます。

プリは海辺の町で多くの漁師が家族と共に浜辺に住んでいます。彼らは非常に貧しく、そしてそうであるがゆえに、この度のことで一番打撃を受けている方々です。そのような所からも、わたしたちのプリ・キンダーガルテンスクールに多くの子どもたちが通って来ています。10月15日には、その地にある学校で石鹸とタオルの配布活動を行いました。カトリックの学校ですが、新型コロナウイルスの影響を受けて、現在休校中です。当日は、大変嬉しいことに、500個の石鹸と500枚のタオルを250世帯以上の貧しい漁師の家族に配ることが出来ました。皆さん大変喜ばれており、これで感染を防ぐことが出来ればと切に願っています。なお、ありがたいことですが、現時点で、皆さんに再度お願いしなくてもよいほど石鹸とタオルの在庫は充分となっています。

このニュースレターを閉じるにあたり、CODE とプリ・キンダーガルテンスクールを代表し、石鹸とタオルを送ってくださったすべての里親の皆さん、日本のバプテストの教会、女性会の皆さん、またすべての兄弟姉妹の皆さんに深甚の感謝と心からのお礼を申し上げます。どうぞ健やかにお過ごしください。

ディレクター

S.K.モハンティ